No.349　令和７年（2025）1月15日　京都市山科区役所地域力推進室　〒607-8511　山科区椥辻池尻町14-2　☎（075）592-3066・FAX（075）502-8881　京都市印刷物第061331号

市民しんぶん山科区版
2025 1 1月15日号

やましな

山科 meetus ミータス 醍醐
つながる未来とわたしたち

山科区公式アプリ
やましなプラス+
App Store　Google Play
※ダウンロードは無料。通信料は利用者負担。

今月号の題字
山田 陽夏大 さん（山階南児童館）

あけましておめでとうございます

今年は巳年！蛇にまつわる行事「二ノ講（にのこう）」を見に行きませんか？

小山地域では、古くから伝わる大蛇退治伝説に由来する「二ノ講（二九）」と呼ばれる行事が毎年2月9日に行われています。大蛇は、山の神が川を伝って降りてくることを表しており、五穀豊穣を願って藁で編んだ大蛇がお祀りされています。

～大蛇退治伝説とは～
正和二年（1313年）、牛尾山に住み着き、動物や参拝者を襲っていた大蛇を、地元の内海景忠という武士が退治したという伝説

日程　2月9日（日）8:30～15:20（雨天決行）
場所　小山総合センター（山科区小山小川町36）
時間
8:30　安全祈願
9:30　大蛇の本体作成開始
13:00　大蛇の飾り付け作業
14:00　大蛇供養
14:30　奉納場所へ移動
15:00　大蛇の奉納
アクセス　京阪バス「小山」から徒歩約８分
※駐車場はありません。公共交通機関でお越しください。
※作業状況によって、時間が前後する可能性があります。

大蛇は神様なので地面には決してつけないよう、足場を組み立てて製作します。

大蛇の体は、大人三人がかりで時計回りに編んでいきます。

このような餅わらを150束（たば）使って大蛇を製作していきます。

昨年会長を任せられ、二ノ講を後世に残していくために様々な見直しを行い、担い手の育成などにも努めています。
地域の方々の協力で代々受け継がれてきた大切な行事をぜひご覧ください。

二ノ講保存会
竹谷武雄さん

大蛇退治伝説に登場する法厳寺を取材してきました！

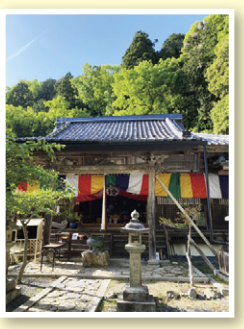
牛尾山 法厳寺

法厳寺の情報はこちら

牛尾山の中腹に位置し、宝亀元年（770年）の開山と伝えられ、かつては清水寺との由縁から「清水寺の奥の院」と呼ばれていました。御本尊は十一面千手千眼観世音菩薩（伝天智天皇勅作）、本堂には延鎮上人、行叡居士、弘法大師、門空上人像が安置されています。

毎年４月と10月の17日に御本尊がご開帳され、春は採燈大護摩供（さいとうだいごまく）、秋は大般若経の転読が行われます。

また、毎月17日には護摩法要が行われており、誰でも自由に参加できます。


本堂は京都府有形文化財建造物に暫定登録されています

採燈大護摩供法要の様子

樹齢800年の御神木の大杉は「天狗杉」と呼ばれています

2月2日（日）13:00～の節分会では、天狗のお面をかぶって豆まきを行います。
ぜひ境内へ足をお運びください。

法厳寺住職
田中祥祐さん

車：桜の馬場から法厳寺まで徒歩約10分
※桜の馬場までは舗装道路ですが、道幅は狭くなっておりますのでご注意ください。
バス：京阪バス「小山」から法厳寺まで徒歩約１時間

問合せ　区企画担当（☎592-3066）